

### 3 病院事業の業務状況

#### (1) 事業の概要

滋賀県病院事業では、高度専門医療を提供し、県民の健康増進と保健福祉の向上を図るため、次の3病院を運営しています。（平成30年1月1日より成人病センターは総合病院へ名称変更しています。）

病 院 名	診 療 開 始	診療科	病 床 数	建物延面積
総 合 病 院	昭和 51 年 4 月	30 科	535 床	90,746.27 m <sup>2</sup>
小児保健医療センター	昭和 63 年 4 月	9 科	100 床	9,444.42 m <sup>2</sup>
精 神 医 療 セ ン タ ー	平成 4 年 9 月	4 科	123 床	10,675.87 m <sup>2</sup>

#### ○患者の利用状況

令和元年度における県立3病院の利用実績（患者延数）は、入院が217,644人、外来が270,806人で、前年度に比べて、入院は1,262人、外来は3,709人の減少となりました。

なお、各病院の近年の利用状況は、次のとおりです。

#### ●患者数

（単位 人）

区 分			平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
			上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
総 合 病 院	入 院	患者延数	76,206	75,678	78,907	80,167	78,434	78,581
		1日平均	416.4	415.8	431.2	440.5	428.6	429.4
	外 来	患者延数	106,729	103,580	99,858	101,683	102,041	99,434
		1日平均	860.7	863.2	805.3	847.4	843.3	835.6
小児保健医療 セ ン タ ー	入 院	患者延数	12,605	11,552	12,032	12,479	13,167	12,565
		1日平均	68.9	63.5	65.7	68.6	72.0	68.7
	外 来	患者延数	23,294	23,245	23,462	23,690	23,021	22,112
		1日平均	187.9	193.7	189.2	197.4	190.3	185.8
精 神 医 療 セ ン タ ー	入 院	患者延数	17,275	18,340	17,662	17,659	17,956	16,941
		1日平均	94.4	100.8	96.5	97.0	98.1	92.6
	外 来	患者延数	13,547	13,923	13,618	12,204	12,019	12,179
		1日平均	109.3	116.0	109.8	101.7	99.3	102.3
合 計	入 院	患者延数	106,086	105,570	108,601	110,305	109,557	108,087
		1日平均	579.7	580.1	593.4	606.1	598.7	590.6
	外 来	患者延数	143,570	140,748	136,938	137,577	137,081	133,725
		1日平均	1,157.8	1,172.9	1,104.3	1,146.5	1,132.9	1,123.7

#### ○建設改良の状況

総合病院で東館の解体工事を進めるとともに、医療の高度化に対応するため、県立3病院で引き続き医療機器の整備等を行いました。

## (2) 経理の状況

### ○予算の補正の状況

令和2年2月定例会議において、入院収益の減少等により事業収益を138,632千円減額補正し、材料費の増加等により事業費用を705,643千円増額補正しました。また、資本的収入を11,391千円、資本的支出を10,806千円それぞれ減額補正しました。

### ○令和元年度予算の執行状況

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの予算の執行状況は次のとおりです。

#### ●収益的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
病院事業収益	23,543,400	—	△ 138,632	23,404,768	22,841,549	97.6
医業収益	20,119,135	—	△ 166,177	19,952,958	19,394,686	97.2
医業外収益	3,212,165	—	45,987	3,258,152	3,252,517	99.8
附帯事業収益	212,100	—	△ 18,442	193,658	194,346	100.4
病院事業費用	23,563,300	—	705,643	24,268,943	23,782,938	98.0
医業費用	22,656,323	—	653,388	23,309,711	22,886,781	98.2
医業外費用	694,877	—	70,697	765,574	704,538	92.0
附帯事業費用	212,100	—	△ 18,442	193,658	191,619	98.9

#### ●資本的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
資本的収入	1,941,800	—	△ 11,391	1,930,409	987,939	51.2
企業債	1,917,300	—	△ 18,500	1,898,800	957,100	50.4
負担金	24,500	—	△ 815	23,685	23,685	100.0
補助金	—	—	924	924	1,546	167.3
諸収入	—	—	7,000	7,000	5,608	80.1
資本的支出	3,818,200	—	△ 10,806	3,807,394	2,798,513	73.5
建設改良費	2,089,469	—	△ 8,721	2,080,748	1,071,869	51.5
企業債償還金	1,728,731	—	△ 2,085	1,726,646	1,726,644	100.0

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

### ○企業債の状況

令和2年3月31日現在の企業債の現在高は、23,729,047千円です。

### ○決算の状況

#### ①損益収支

事業収益は、医業収益の増加により対前年度比1.2%増加の22,795,934千円となりました。一方、事業費用は、材料費の増加等による医業費用の増加等により対前年度比3.3%増加の23,740,510千円となりました。この結果、当年度純損失は、前年度より476,928千円増加し、944,576千円となりました。

●比較損益計算書

(単位 千円)

科 目	令和元年度(A)	平成 30 年度(B)	比 較 増 減	
			(A)－(B)	(A)/(B) %
事 業 収 益	22,795,934	22,515,386	280,548	101.2
医 業 収 益	19,366,785	18,878,575	488,210	102.6
医 業 外 収 益	3,234,858	3,277,677	△ 42,819	98.7
附 帯 事 業 収 益	194,291	210,042	△ 15,751	92.5
特 別 利 益	—	149,092	△ 149,092	皆減
事 業 費 用	23,740,510	22,983,034	757,476	103.3
医 業 費 用	22,347,950	21,692,550	655,400	103.0
医 業 外 費 用	1,200,919	1,083,474	117,445	110.8
附 帯 事 業 費 用	191,641	207,010	△ 15,369	92.6
当年度純利益(△は損失)	△ 944,576	△ 467,648	△ 476,928	202.0

②財務状況

令和元年度末の総資産は、建物の減価償却に伴う固定資産の減少等により前年度より 1,230,083 千円(3.1%)減少して 38,783,940 千円となり、負債は固定負債の減少等により 285,507 千円(0.8%)減少して 33,807,169 千円となりました。また、資本は 944,576 千円(16.0%)減少し 4,976,771 千円となりました。

●比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	令和元年度	平成 30 年度	比較増減	科 目	令和元年度	平成 30 年度	比較増減
固定資産	31,117,161	31,712,874	△ 595,713	固定負債	26,254,661	26,692,256	△ 437,595
流動資産	7,666,779	8,301,149	△ 634,370	流動負債	5,172,757	4,866,759	305,998
				繰延収益	2,379,751	2,533,661	△ 153,910
				負債合計	33,807,169	34,092,676	△ 285,507
				資本金	16,415,091	16,415,091	—
				剰余金	△11,438,320	△10,493,744	△ 944,576
				資本合計	4,976,771	5,921,347	△ 944,576
合 計	38,783,940	40,014,023	△ 1,230,083	合 計	38,783,940	40,014,023	△ 1,230,083

(3) 令和 2 年度の事業および予算の概要

県立病院では、平成 18 年度に地方公営企業法を全部適用し、病院事業管理者として病院事業庁長を設置し、平成 24 年 3 月に策定し、平成 27 年 3 月に中間見直しを行った「第三次滋賀県立病院中期計画」に基づき経営改善を進めてきましたが、平均在院日数の短縮に伴う入院収益の減等から、依然として厳しい経営状況となっています。こうした中で、平成 29 年 3 月に策定した「第四次滋賀県立病院中期計画」に掲げる目標の達成に向けた取り組みを着実に実施し、経営改善を進め、安定的な経営基盤を構築するとともに、質の高い医療サービスを提供していきます。

総合病院では、新病棟開設などで高めてきた病院機能をさらに強化し、より精度の高い診断・治療を実現するとともに業務の効率化を図るため、老朽化している医療機器を更新し最新の技術の導入を進めます。また、安全で質の高い医療の提供に向けて、多職種によるチーム医療を推進します。さらに、医師、看護師をはじめとした医療スタッフについて、タスクシフティングや業務の効率化により負担軽減を図るなど、勤務環境の改善を進め、より効果的、効率的な病院運営に努め、経常収支の黒字化を目指してまいります。

小児保健医療センターでは、一般病院では対応が困難な障害児医療や難治・慢性疾患を中心に全県型医療を提供し、地域医療機関等との連携を図りながら高度専門的かつ包括医療を推進するとともに、平成30年3月策定の基本計画を踏まえ、持続的発展可能な医療体制の確立に向け、必要な機能や診療科の体制等を検討のうえ、人材の確保のための準備や総合病院との統合に向けた調整を推進します。

精神医療センターでは、精神医療の拠点病院として、アルコール依存症等中毒性精神障害や思春期精神障害などの専門医療の充実、行政や関係機関・施設等との連携強化を図ります。また、医療観察法病棟について、近畿厚生局と適切な調整を図りながら対象者の受け入れを行うとともに、開かれた病院運営に努めつつ、引き続き適切な医療の提供を行います。

## ○令和2年度当初予算の概要

### ●収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左 の 内 訳			
			総合病院	小児保健医療センター	精神医療センター	経営管理課
病院事業収益		25,635,200	19,812,500	3,615,000	2,117,800	89,900
	医業収益	21,968,332	17,576,978	2,875,223	1,428,627	87,504
	医業外収益	3,456,568	2,235,522	529,477	689,173	2,396
	附帯事業収益	210,300	—	210,300	—	—
病院事業費用		25,560,400	19,757,900	3,599,900	2,112,700	89,900
	医業費用	24,529,983	19,059,534	3,295,466	2,085,083	89,900
	医業外費用	820,117	698,366	94,134	27,617	—
	附帯事業費用	210,300	—	210,300	—	—

### ●資本的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左 の 内 訳			
			総合病院	小児保健医療センター	精神医療センター	経営管理課
資本的収入		1,979,400	1,640,700	270,000	68,700	—
	企業債	1,948,900	1,614,100	268,000	66,800	—
	負担金	30,500	26,600	2,000	1,900	—
資本的支出		3,940,000	3,243,900	434,800	261,300	—
	建設改良費	2,092,770	1,718,824	303,246	70,700	—
	企業債償還金	1,847,230	1,525,076	131,554	190,600	—

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金で補填します。